

## HOT NEWS OF JAPANESE NUTRITION/HEALTH INDUSTRY MAY, 2005

5月17日～19日、東京流通センターにて、ヘルスビジネスマガジン社と米国 New Hope Natural Media 社の共催で第1回ナチュラル・プロダクツ・エキスポ・ジャパンが開催された。最終商品を扱う企業を中心に約140社(内、海外企業が約40社)が出展し、3日間の来場者は8,600名を超えた。米国最大の健康食品の展示会 Natural Products Expo West を運営する New Hope Natural Media 社との共催ということもあり、日本国内で開催される他の展示会と比べ海外からの出展者及び来場者が多かったように感じた。日本は米国に続く世界 No.2 の健康食品市場であり、海外企業の日本市場に対する関心は高い。Now Foods 社や Source Naturals 社などのナショナルブランドも出展し、日本でのパートナーを探していた。第2回ナチュラル・プロダクツ・エキスポ・ジャパンは、規模を拡大し2006年9月にビックサイトで開催される予定だ。

「若返りの最強トライアングル」としてあるある大事典で紹介された CoQ10、 $\alpha$ -リポ酸、L-カルニチンだが、各々の状況は変化しつつある。CoQ10 は依然として原料不足が続いている。しかし、品切れが続いているのは、ネイチャーメイド(大塚製薬)、小林製薬、ファンケル、DHC などの低価格商品である。ネイチャーメイドの CoQ10 は、入荷されるとあっという間にドラッグストアの棚から消えるが、高価格商品は在庫が見られるようになった。一方、 $\alpha$ -リポ酸は2月後半に品切れが相次いだが、現在ではだぶつき始めたようだ。また、L-カルニチンは、CoQ10 及び  $\alpha$ -リポ酸に続き、3匹目のドジョウをあるある大事典で狙ったが、反響はいまいちのようだ。

### **NEW PRODUCTS**

#### **資生堂ビューティーフーズ、「美系」シリーズ第2弾「美系ダイエットセルライター」を発売**

資生堂ビューティーフーズは、ダイエットドリンク「美系 ダイエット燃料(3月1日発売)」に続き、2005年5月1日より、ダイエットドリンク「美系 ダイエットセルライター(100ml)」を全国のドラッグストア、大手スーパーにおいて新発売する。「美系 ダイエットセルライター」は、グレープフルーツの香りとカフェインの力に加え、めぐりを整える各種植物エキス、ダイエット中に不足しがちな食物繊維をぎゅっと詰め込んだ速攻型のダイエットドリンク。メインターゲットは20代から30代の女性。(4月21日 資生堂ビューティーフーズプレスリリース)



#### **ドクターシーラボ、肥満遺伝子在宅検査サービスを開始**

ドクターシーラボは、5月11日より、肥満遺伝子の在宅検査サービスとして、「Dr. Ci: Program(ドクターシーラボプログラム)肥満遺伝子検査セット」の販売を開始する。これは、(株)日本ウエイトマネージメントの技術・

理論提供を受け、ドクターシーラボが総合プロデュースするサービスで、ダイエットの視点から各個人に最も適した食生活と運動方法を提案する。同封の綿棒で口内の唾液を採取し、食生活に関する質問表への回答とともに検査センターに送付すると、「被検査者の肥満遺伝子の型」と、その遺伝子の特徴に基づいた「栄養素の摂取バランス」「運動方法」などが記載された検査結果シートが、約1週間で返送されてくる。検査項目は、 $\beta 3$ アドレナリン受容体遺伝子、UCP1遺伝子、 $\beta 2$ アドレナリン受容体遺伝子の3種類。価格は31,500円。(5月6日 ドクターシーラボプレスリリース)

### ノバルティス、アルギニン滋養飲料「アイソカル アルジネード」を発売

ノバルティス ファーマ株式会社ニュートリション事業部は、5月16日よりアルギニン滋養飲料「アイソカル(R) アルジネード(TM)」を発売する。アイソカル・アルジネードは、褥瘡(床ずれ)予防や治療において重要な役割を果たす栄養素であるアルギニンや亜鉛、鉄、ビタミンA・Cに加え、高齢者が不足しがちな微量元素やビタミンを効率よく配合した液状栄養食。アイソカル・アルジネードは特約店を通じ、老人ホームや老人保健施設などの高齢者施設や医療機関に販売されるほか、在宅の方々には宅配販売にて販売する。(5月10日 ノバルティスファーマプレスリリース)



### ニュースキン、減量サプリメントとCoQ10配合美容液を発売

ニュースキンジャパンは、減量をサポートするサプリメント「TRA エッセンシャルズ」(270カプセル(1か月分)、14,270円)を5月11日に、またCoQ10配合美容液「ニュースキンQ10 エッセンス」(30mL、7,203円)を5月13日に発売する。「TRA」は「The Right Approach - 減量のための正しいアプローチ」の略で、サプリメント・食生活・エクササイズの3つのアプローチによる健康的な減量を目指す新しい製品カテゴリー。「TRA エッセンシャルズ」はその基本となる製品で、L-カルニチン、緑茶エキス、バナバエキス、ウィザニア根エキス、L-テアニンを配合している。「ニュースキンQ10 エッセンス」は、CoQ10とビタミンC、ビタミンE、無色カロテノイド(デュナリエラサリナエキス)、海洋プランクトンのアルテミアエキスを配合し、活力ある肌を保つ。(5月12日 訪販ニュース)



### ファンケル、大人ニキビ対策サプリメント「クリアコントロールAC」を6月に発売

ファンケルは、20代以降の大人ニキビに対応するサプリメント『クリアコントロールAC』を6月21日に新発売する。初年度販売目標は4億円。近年、ニキビに悩む20代以降の女性が増えている。10代の頃にできる皮脂過多によるニキビとは異なり、ストレスや生理周期などが原因であると考えられている。ファンケルではストレスや生理周期に伴うホルモンバランスの乱れに着目し、皮脂対策にとどまらず根本からニキビのできにくい身体に導く『クリアコントロールAC』を発売する。同商品には、ビタミンB2・B6・C、イソフラボンやチェストツリーが含有されている。イソフラボン・チェストツリー・ビタミンB6それぞれの単独摂取と比較して、効果的に大人のニキビを改善することが確認されている(特許第3270030号)。(5月18日 ファンケルプレスリリース)





### ニューウエイズジャパン、子供向け飲料水を発売

ニューウエイズジャパンは、4月27日、子供向け清涼飲料水「ジュニアマックス」を発売した。ぶどう、オレンジなどの果汁に、10種類のビタミン、-リポ酸を配合している。(5月19日 訪販ニュース)

### 日本メナード化粧品、αリポ酸&ビタミンE サプリを6月に発売、血管の弾力性改善をヒト試験で確認

日本メナード化粧品は、αリポ酸にビタミンEを配合した「VEアルファリポ酸」を6月21日に発売する。同社は、αリポ酸とビタミンEをそれぞれ単体で摂取するより、両者を一緒に摂取する方が血管の弾力性が高まることをヒト試験などで確認した(5月20日 日経サプリ&機能性食品)

### JT、エネルギーを生み出す機能素材「D-リボース」配合の清涼飲料「Walkin」を6月に発売

JTは、素早くエネルギーを生み出す機能素材「D-リボース」を配合した初の機能性飲料「Walkin」[ウォーキン]を、6月13日から全国で新発売する。D-リボースとは、素早くエネルギーを生み出すといわれる単糖で、「ATP」(体内全ての機能に燃料を送る細胞の主要エネルギー伝達体)の生成を促進する、いわば「エネルギーの素」である。「D-リボース」は、運動やストレスにより減少したATPレベルを回復する機能を持っており、気力・体力を充実させる新機能性素材として注目されている。(5月23日 JT プレスリリース)



### シンギー、血液サラサラ商品「M-ヒルディン」をナチュラル・プロダクツ・エキスポ・ジャパンで展示

シンギーは、5月17日～19日に開催されたナチュラル・プロダクツ・エキスポ・ジャパンに同社の核製品である「M-ヒルディン」を展示した。同商品は、水ヒルを主原料に鶏血藤エキスや丹参葉、田七人参、ウコンなどの中医素材を配合したもので、抗血栓、溶血栓、動脈硬化防止、降血压、血管壁修復、血管循環改善、免疫調整、血管壁痙攣緩和、血液粘度降下、血管拡張作用などをもつ。(5月26日 訪販ニュース)



## TECHNOLOGY UPDATES

### 江崎グリコ、糖転移ヘスペリジンの冷え性改善を確認

江崎グリコ中央研究所は、糖転移ヘスペリジンの女性の冷え性改善効果について研究を重ねてきたが、このほど低容量の継続摂取でも効果があることを確認した。この成果は、2005年5月13日から15日まで東京で開催される日本栄養・食糧学会で発表される。(5月3日 日経 FOOD・SCIENCE)

### フジッコ、カスピ海ヨーグルトの粘り成分がストレスによる肌トラブルを予防することを確認

独特の粘りが特徴である「カスピ海ヨーグルト」は、京都大学名誉教授の家森幸男氏が、長寿地域のコーカサス地方から持ち帰ったことから日本の家庭で広まった。フジッコは、家森先生の指導の下でカスピ海ヨーグ

ルトから乳酸菌 *Lactococcus lactis subsp. cremoris FC* 株(ラクトコッカス・ラクティス・サブスピーシズ・クレモリスエフシー株)を分離することに成功した。また、静岡県立大学薬学部石田均司講師との共同研究で、クレモリスFC株で調製したカスピ海ヨーグルトの整腸効果やストレスによる肌の機能障害の予防効果が明らかになった。研究成果は、第59回日本栄養・食糧学会大会(2005年5月13日～5月15日)で発表される。(5月10日 フジッコプレスリリース)

#### 鹿大農、ニュートリゲノミクスでブルーベリーの抗炎症メカニズムを解析

鹿児島大学農学部の候徳興助教授らは、ブルーベリーの色素成分が炎症を抑えるメカニズムをニュートリゲノミクスの手法で解明した。2005年5月12日に都内で開かれた「第4回ブルーベリー国際シンポジウム」で発表した。この成果の詳細は近く、薬理学の国際誌に論文発表される。(5月13日 日経 FOOD・SCIENCE)

#### ユニチカ、「ハナピラタケ」のコラーゲン産生促進や美白作用などの美容効果を確認

ユニチカは、「幻のきのこ」ハナピラタケが、肌の「はり」や「潤い」を保つ成分であるコラーゲンの産生を促進する効果やメラニン色素の生成を抑える美白効果を有することを確認した。今後、研究成果を商品開発につなげていく。(5月25日 ユニチカプレスリリース)

#### 明治製菓、カシスアントシアニンが眼精疲労やくまを改善、ビルベリーには効果認めず

カシスの飲用は一時的な近視化を抑制し、皮膚表面の血液量を増やしたが、ビルベリーにこの作用は認められなかった。アントシアニン骨格やポリフェノール量を揃えて実施したヒト試験で、効果に違いがみられることが、2005年5月25日に都内で開かれた「『カシスポリフェノール』の健康・美容効果に関するセミナー」で発表された。眼精疲労改善作用は YN Medical 主宰の中石仁医学博士が、くま改善作用はサンククリニック院長の市橋正光・神戸大学名誉教授が解説した。(5月30日 日経 FOOD・SCIENCE)

## COMPANY NEWS

#### ファンケル 2005年3月期決算 微増収大幅減益に

ファンケルが2005年3月期決算を発表、売上高は879億3700万円で対前年比3.5%増、営業利益は54億2800万円で同30.1%減、経常利益は54億9000万円で同28.6%減、当期純利益は同49.5%減の17億900万円だった。部門別では、化粧品事業の売上が前期比6.2%増の370億9800万円、健康食品事業は同5.0%増の311億3100万円だった。主力の化粧品、健康食品は店舗数増が寄与し増収だったが、発芽玄米といよいよ王国の不調で伸びが抑えられた。(5月12日 通販新聞)

#### 日本抗加齢学会、「アンチエイジングドック」の設立支援

日本抗加齢医学会は、2005年5月10日、「アンチエイジングドック」の設立支援活動を行う方針を発表した。バイオベンチャーの「バイオマーカーサイエンス」と連携して活動に当たる。設立された施設で働く専門医、指導士も養成し、抗加齢に効果のある機器、食品などの開発も行う。(5月10日 日経 FOOD・SCIENCE)

### ヤクルト、米国のヒスパニック系スーパーマーケットで「ヤクルト」の販売開始

ヤクルトは、米国カリフォルニア州のヒスパニック系スーパーマーケットにおいて「ヤクルト」の販売を6月1日から積極的に展開する。メキシコでは、1981年に営業を開始し、ヤクルトレディおよび店頭チャンネルで「ヤクルト」を販売しており、ヤクルトブランドはメキシコで広く認知されている。米国では、メキシコから「ヤクルト」を輸入し、主にアジア系スーパーマーケットで販売してきた。メキシコでのヤクルトブランドの認知の高さに牽引される形で、近年特に、カリフォルニア州を中心にヒスパニック系スーパーマーケットから「ヤクルト」の取り扱いについての要望や消費者からの購入希望が急増していた。そこで、米国のヒスパニック系スーパーマーケットでも「ヤクルト」を販売することにより、米国におけるヤクルトブランドの更なる認知拡大を目指す。(5月19日 ヤクルトプレスリリース)

### 小林製薬 栄養補助食品売上 14.7%増

小林製薬の2005年3月期決算での栄養補助食品の売上は、前年比14.7%増の96億5400万円となった。チャンネル別の売上は、通販が約58億円、ドラッグストア向け卸が約38億円となった。通販売上は、前年実績が54億円だったため、伸び率は7.4%増で1桁成長に鈍化した模様。前期は10アイテムを新発売した。(5月19日 日本流通産業新聞)

## MLM COMPANY NEWS

### FLP ジャパン、2005 年第 1 四半期の売上 2%減

FLP ジャパンの2005年度第1四半期の売上は、前年同期比2.0%減となった。地域的には大阪を中心に西日本は堅調だったものの、東日本がやや活力を欠いた。同社初のダイエットプログラム「フォーエバークリーン&リーン」の発売を5月に控え、同製品への期待感から買い控えの動きが影響した可能性もある。(5月5日 訪販ニュース)

### ニュースキンエンタープライズ 2005 年第 1 四半期 健食 31%増、パーソナルケア 11%減

ニュースキンエンタープライズは、2005年度第1四半期の決算を発表した。これによると売上高は2億8925万ドルと前年同期比9.6%増となった。事業部門別では、ファーマネックス事業(健康食品)が1億6550万ドルで同31%増と大きく伸びた。これは、バイオフィットニックスキャナーの成功と、中国大陸で3つの商品を発売したことによる。一方、ニュースキン事業(パーソナルケア)は1億1830万ドルで同11%減と落ち込んだ。地域別では、北アジア(日本と韓国)の売上が1億6082万2000ドルで同7.2%増となった。日本にバイオフィットニックスキャナーを導入したことで栄養補助食品の売上が伸びたことが主要因のひとつである。(5月12日 訪販ニュース)

### タヒチアンノニ、タヒチの新加工工場本格稼働

タヒチアンノニインターナショナルが2年前からタヒチで建設を進めてきた新加工工場が4月12日に稼働した。同社によると、約8000平方メートルの新工場はタヒチ最大の製造施設。最新の製造設備を整えた同工

場は、これまでの2倍以上の生産能力があるという。世界70ヶ国以上の現地法人に出荷する予定だ。(5月12日 日本流通産業新聞)

### ニュースキンジャパン、新ADPを6月から導入

ニュースキンジャパンは、注文した製品が毎月自動的に配送される「ADP(Automatic Delivery Program)」の割引対象にパーソナルケア10製品を追加した新プログラムを6月2日に開始する。従来のADPでは、ファーマネックス全製品とパーソナルケア製品「トゥルーフェイスエッセンス」1品が対象だった。6ヶ月単位で申し込みができ、6ヶ月目までは卸売価格の5%割引、7ヶ月目以降は卸売価格の10%割引、更に配送料無料という特典がある。新しいプログラムでは、パーソナルケア製品を10品追加、この10製品については5%割引で、7ヶ月目以降も割引率に変動はない。(5月12日 日本流通産業新聞)

## CONSUMER TRENDS

### 厚生省、国民健康・栄養調査結果を発表、ミネラル欠乏、30～40代男性のメタボリック症候群の予備軍が顕著に

厚生労働省が、「平成15年国民健康・栄養調査結果」の概要を発表した。今回の調査結果と食事摂取基準を照らし合わせると、カルシウム、亜鉛、銅など複数のミネラルで深刻な欠乏状態に陥っていることが分かった。また、30～40代男性の約3割が生活習慣病を引き起こすメタボリック症候群の予備軍であることが分かった。(5月4日 健康産業新聞)

### 健康食品の購入はテレビの健康番組視聴量に依存

群馬大学教育学部の高橋久仁子教授は、健康情報番組の視聴量が、特定保健用食品やいわゆる健康食品の購買行動に強く影響していることを、消費者調査によって明らかにした。この結果は2005年5月14日、第59回日本栄養・食糧学会大会で発表された。調査は、群馬県内で小学生、あるいは高校生がいる家庭に調査を依頼し、食品購買に携わる人に答えてもらったもの。有効回収数は1732で、女性回答者が92.3%を占める。実施時期は04年9月から10月。まず、知名度の高い7つの健康情報番組を提示して視聴の状況を尋ね、視聴量別に食行動を分析した。その結果、番組を多く視聴する群ほど、食品の健康効果に関する興味が高く、栄養バランスを考えたり、品目を多様に摂取するなど、食生活における自己評価が高く、実際の購買行動にもつなげていることがうかがえた。(5月17日 日経 FOOD・SCIENCE)

## REGULATORY NEWS

### 規格基準型特保、9成分の基準値が明らかになる

規格基準型特定保健用食品の関与成分及び基準値が遂に明らかとなった。5月26日までのパブリックコメント募集期間を経て、6月中には通知が発行される見通しだ。規格基準型特保の申請では、有効性試験は免除されるが、安全性に関して3倍量以上の過剰摂取試験の実施が要求される。規格基準型特保の関与

成分は次の 9 成分。 食物繊維 - 難消化性デキストリン、ポリデキストロース、グアーガム分解物、 オリゴ糖 - 大豆オリゴ糖、フラクトオリゴ糖、乳果オリゴ糖、ガラクトオリゴ糖、キシロオリゴ糖、イソマルトオリゴ糖。(5月11日 健康産業新聞)